

笠間稲荷神社参拝&水戸市植物公園散策

11月17日(土)、笠間稲荷神社と水戸市植物公園へ行きました。

数日前までの天気予報では17日には“☔”がついていてとても気をもみましたが、日頃の心がけが良いので当日は朝から太陽が顔を出して絶好のお出かけ日和となりました。

最初の目的地は、茨城県笠間市にある笠間稲荷神社。この日は「第111回笠間の菊まつり」の開催期間中で、参道などに丹精込めて育てられたきれいな菊の鉢植えが展示されていました。参拝後、職員が門前にある二ツ木という寿司屋さんと、予約しておいたくるみ入り稲荷ずし(参加者用に1個ずつパックに入れてもらえるよう依頼)を購入しました。



(2面へ続く)

午後は、水戸市植物公園の散策。この植物公園は、テラスガーデン、観賞大温室、熱帯果樹温室、水戸・養命酒薬用ハーブ園、芝生園、ロックガーデンなどから構成された洋風庭園です。温室等の暖房は、隣接する清掃工場の余熱を利用しています。到着した一行は、ボランティアガイドの案内で園内を巡りました。



銚子Eまつり 出店

11月3日(土)、銚子漁港第三卸売市場を会場にして、銚子Eまつり(水産まつり、農産まつり、きんめだいまつり、まぐろフェア)が開催され、しおさいも出店しました。この日は、就労移行の女性メンバー3人と職員3人が販売を行いました。



健康まつり 出店

11月4日(日)、銚子市健康福祉センターすこやかなまなびの城を会場にして、健康まつりが開催され、しおさいも出店しました。この日は、B型のメンバーと職員が販売を行いました。



～編集後記～

しおさいでも始業前に毎日行っているラジオ体操。今年はそれが制定されて90年とのこと。ラジオ体操は、昭和3年(1928)11月に、国民の健康増進の為、逓信省簡易保険局(現・かんぽ生命保険)がNHKや文部省(現・文部科学省)の協力を得て制定され、正式名は「国民保健体操」といいます。当初は全国の郵便局員が動きを覚え、各地で指導に当たったそうです。その後、ラジオで放送されたことによって全国に普及して行きました。昭和26年～27年(1951～52)に「ラジオ体操第一・第二」として再構成されて現在に至っていて、朝のラジオ体操人口は高齢者を中心に2800万人と推定されているそうです。